

誰もが安心して利用できるための避難所チェック **13** 項目

	① 障害のある人、高齢者、妊娠している人、乳幼児など、配慮が必要な人の視点で施設・設備・備蓄品のチェックを行い、実際に訓練をしたことがありますか。
	② 配慮が必要な人が、どれくらい避難所を利用するか把握していますか。
準備	③ 配慮が必要な人の利用を前提として、避難所内や駐車場のレイアウトを事前に決めていますか。
	④ 避難所に避難しない被災者(在宅・車中泊避難者)への対応を決めていますか。
	⑤ 避難者が利用する経路・通路は、車いすが通行できる幅員が確保され、危険箇所や段差が解消されていますか。
	⑥ 掲示板等は、車いす利用者や子どもに配慮し、低い位置からでも見通しがよい配置になっていますか。
情報	⑦ 施設の案内情報はわかりやすい表現(ゴシック体、色の組合せ)になっていますか。
	⑧ 音声でコミュニケーションや情報がとりにくい人のため、コミュニケーション支援ボード等の機材は用意してありますか。
	⑨ 視覚に障害のある人にも利用できるよう、音声案内設備や点字表示がありますか。
設備	⑩ 男女更衣室や静養室、授乳室として利用できる空間(個室やパーテーション)が用意できますか。
	⑪ ベッドルームや簡易ベッドは用意してありますか。
衛生	⑫ 車いす利用者やオストメイト、子ども連れの人などに使えるトイレや手洗い場が設置してありますか。
	⑬ 災害時に衛生的に、誰もが安心して利用できるよう、トイレや手洗い場の利用ルールについて取り決めてありますか。

※避難所運営に関わる関係者(行政、地域関係者、施設管理者等)でチェックしてみましょう!

チェックして気づいたことをメモしましょう。

1. 準備

いざという時に避難所を運営するための普段の準備について

2. 情報

避難所に来た人たちに情報をお知らせする方法について

3. 設備

誰もが安心して利用できるための用意について

4. 衛生

トイレや手洗い場について

※このチェックリストは滋賀県災害時における福祉的支援検討会において議論し、作成しました。